

石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ <https://www.senshu-u.ac.jp/isinomaki/>

石巻専修大学
広報係
☎986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717(直)



希望を胸に 夢に一步

2019年度入学式

暖かな春の日差しに恵まれた4月4日、2019年度の石巻専修大学入学式が、本学体育館で行われた。今年度の入学生は、理工学部137人、経営学部148人、人間学部77人、大学院生3人の計365人。平成最後の入学生たちは晴れやかな表情で式に臨み、希望を胸に大学生活をスタートさせた。



365人が大学生活をスタートさせた平成最後の入学式

尾池学長再任



任期満了に伴う石巻専修大学の学長改選が行われ、2月27日の理事会で尾池守理工学部教授を学長に選任(再任)した。尾池学長は2期目。任期は2019年4月1日から22年3月31日までの3年間。

1学部長、2研究科長が新任



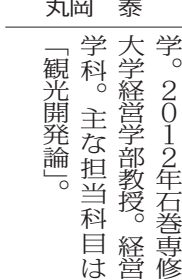
佐々木 洋



中込 真二



丸岡 泰



渡邊 寿大



新専任教員

学部長、研究科長の改選が行われ、理工学部長に佐々木洋教授が、大学院の理工学研究科長に中込真二教授が、経営学研究科長に丸岡泰教授が就任した。4月1日付で任期は2年。3人のプロフィールは次の通り。(敬称略)

【理工学部長】佐々木洋(ささき・ひろし) 農学博士。東北大学大学院農学研究科博士課程修了。1998年石巻専修大学理工学部教授。生物科学科。主な担当は「海洋学」。

【理工学研究科長】中込真二(なかごみ・しんじ) 工学博士。東北大学大学院工学研究科博士課程修了。2002年石巻専修大学理工学部教授。情報電子工学科。主な担当は「電子回路」。

【経営学研究科長】丸岡泰(まるおか・やすし) 博士(国際関係論)。上智大学大学院外国語研究科単位取得退学。2012年石巻専修大学経営学部教授。経営学科。主な担当科目は「観光開発論」。

◆経営学部 助教「基礎統計学」「地域産業論」



歌詞カードを手に初めて校歌を歌う新入生たち



「企業会計」(田村真介准教授)の初回講義

尾池守学長は式辞で「皆さんには夢や目標を持ってほしい。5年後、10年後、その夢に一步でも近づくためには、今、何をすべきかを考えながら、目的を持って4年間で、大いに大学生活を楽しんでほしい」と話した。

日高義博理事長、亀山紘石巻市長の祝辞に続き、新入生を代表して2人が誓いの言葉を述べた。

佐川陽祐さん(大学院理工学研究科)

前期授業が4月8日にスタートし、学生たちはそれぞれの夢や目標に向かって動き出した。新入生たちは緊張した面持ちで大学の初講義に出席した。古田晴紀さん(経営1・新潟県北越市)は「講義を通して確かな知識を身につけた」と語った。



「一步ずつ成長していく」と宣誓の言葉を述べた熊谷さん

教育の発展につながるような研究をしたい。時代の変わり目、節目の年に入学した者として、未来を見据え、社会に貢献できる人間になれるように精進していく」と決意を述べた。

熊谷美月さん(人間・宮城県石巻市)は「これから始まる学生生活に夢や希望を抱き、期待に胸を躍らせています。石巻専修大学の一人として、一步ずつ成長できるような、ひたむきに努力し続けます」と力強く宣誓した。

式終了後は、新入生ガイダンスや学生・保護者懇談会などが行われた。また、先輩たちによるサークル団体の勧誘もあり、キャンパスにはにぎやかな声が響いた。

い。ガイダンスで話を聞きた。簿記に興味を持った。簿記をはじめ、さまざまな資格取得に挑戦したい」と話す。公認会計士が目標という相澤尚潤さん(経営1・宮城県古川市)は「勉強面ですっかりと努力しながら、大学生活を楽しみたい」と期待を語る。

上級生も新たな意気込みで新年度を迎えた。後藤純矢さん(経営3・宮城県石巻市)は「卒業後は、地域のまちづくりや観光分野に貢献したい」と考えている。そのためにも授業だけでなく、今年度は観光に関する資格の取得、インターンシップへの参加など課外活動に力を入れた。

目黒裕梨さん(人間4・宮城県仙台市青葉区)は「公認心理師の資格取得を目指している。カウンセラーとして幅広いフィールドで活躍できるように、心理学の専門知識を身につけた」と語った。

の加工を自動で行うことができる。金型や自動車部品の製造などといったものづくりの現場で広く用いられている。

今回導入されたのはハース・オートメーション社(米国)製のVF2 SS。高橋智理工学部准教授は「製造業においてマシニングセンタシステムは必要が高まっているが、装置を扱える技術者は不足している。大学で操作方法を学び、CAM(コンピューター支援製造)を活用したものをづくりを経験することは、就職活動で学生の強みになる」と期待を寄せる。

3年次の「CAM工学」といった機械工学科の講義のほか、卒業研究で実験や製作に活用する。高橋准教授は「コンピューターシミュレーションの結果や、学生の柔軟なアイデアを基にしたオリジナルの機械部品を作り出すことも可能となる。短時間で効率的に加工を行えるため、何度でも設計を修正し、完成を目指すことができる。このトライ&エラーが学生の成長につながり、ものづくりの面白さを学べる」と意義を語った。

工作・試験センターに導入 マシニングセンタシステム ものづくりの環境整備

ものづくりを支援する新たな工作機械(2019年導入)

「マシニングセンタシステム」製作工程

①コンピューターによる3Dモデルの設計



③マシニングセンタシステムによる切削



②3Dモデルを基にした加工データ



④完成



特徴

- ・コンピューター制御によって、複雑な切削加工を自動的にこなせる
- ・コンピューターで設計した三次元データから、短期間で製作が可能

「面白さを学べる」と意義を語った。